

---

# クリスマスの予定は空いていますか？

忍冬

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

クリスマスの予定は空いていますか？

### 【Nコード】

N6105Z

### 【作者名】

忍冬

### 【あらすじ】

クリスマス前日の女の子二人のお話。

**（前書き）**

イギリスはアリスかローザです

物語には関係ないけど、菊さんは桜ちゃんのお兄さん、アーサーはアリス（ローザ）の双子のお兄さんって感じの感覚で書いています。

「ところで、お聞きになりたいことって、なあに？」

透明のプラスチックカップに入ったクリイミイな薄緑色。ふわふわのミルク。

笑顔の女の方はちょっと贅沢なしるし。

アリスさん？呼びかけられてはつとなる。

鼻をくすぐるキャラメルの香り。

「……クリスマスのこと」

「ああ……………」

テーブルの下。黒と白のソックス。茶と黒のローファー。赤いチエックのスカート。

「菊さんは誰と過ごすの？」

「兄上……。わかりません……。誰か、特定のお相手はいないかと」

「でも、菊さんモテるじゃない」

「そうですね……。貴女も兄上を誘うおつもりなのね」

「……」

困り果てたような翡翠色を見て、微笑む一対の黒。

「素敵なことではありませんか」

「……いいの？」

「もちろん構いません」

「よかったあ」

野外の寒さと中の暖房とで乾燥した喉に染み込む甘み。

窓ガラスの外側は冷たい空気。

「そう、兄上は貴女にお任せします。そのかわり、と言っでは難でしょうが……………」

「なあに？」

細い脚が所在無しげに空を蹴る。

「貴女のお兄様、クリスマスの予定は空いていますか」

彼女が自分と同じように目を伏せるのが少し、可笑しい。

「もちろん。兄はいつだって空いているわ」

よかった。小さな声が漏れた。

お互いに黙ったまま携帯電話を取り出す。お揃いのストラップがついた白とピンクと。

番号を打ちながら、最初の言葉は決まっている。

「もしもし。あの、クリスマスの予定は空いていますか？」

(後書き)

スランプです( > < )



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6105z/>

---

クリスマスの予定は空いていますか？

2011年12月20日15時50分発行